

このページは読み上げ機能に一部対応していない場合があります。
ご不明な点につきましては、直接学校までお問い合わせください。

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

千葉県八千代市		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
八千代市立西高津小学校	八千代市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の公表	学校関係者評価結果の公表
八千代市立西高津小学校	https://www.yachiyo.ed.jp/enisitaka/gaiyo/hyouka/	

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

1～2学年での言語活動科を行う。

国語科から11時間（2学年は10時間）、生活科から10時間、音楽科から13時間（2学年は15時間）、言語活動科に充てる。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

東葉高速鉄道の開発により、首都圏の住宅地として開発が進んでいる地域の小学校である。児童が生きる社会を見据えた時、高いコミュニケーション能力や異文化理解能力が求められる。このような状況を踏まえると、言語活動科（外国語活動）を第1学年から実施し、コミュニケーション能力や異文化への児童の興味・関心、能力を高めていくことが求められていると捉えている。そのことへの保護者の関心は高い。

(3) 特例の適用開始日

平成24年4月1日

平成30年4月1日変更

(4) 取組の期間

令和3年4月1日から令和5年3月31日まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

(2) 実施状況に関する特記事項

特記事項なし

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

<特記事項>

学校だよりやホームページで情報提供している。

4. 実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

1年生から英語に慣れ親しみ、児童アンケートで「英語の学習が好き」「英語を使えるようになりたい」など、授業や英語について肯定的な考えを持つ児童が85～90%となっている。また、外国語活動を行うことでコミュニケーションへの態度が積極的になり、ALTに対して普段の生活から進んで話しかける姿が多く見られる。英語を使って積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度が育成されている。

外国語活動に慣れ親しみ、英語を聞く力が特に高まっている。視覚的に英語の意味を考えながら集中して英語を聞き、さまざまな活動を通して英語をまねたり、歌ったり、楽しみながら授業に参加できている。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

1, 2年生からの言語活動科の実施により、英語に慣れ親しむ児童が増え、3, 4年生の外国語活動、5, 6年生の外国語科での学習への意欲に効果が上がっている。

5. 課題の改善のための取組の方向性

ALTとの打ち合わせをしながら、学級担任が積極的に外国語活動の授業に取り組む必要がある。子供たちの力を伸ばす授業力をつけるため、日々の授業改善やOJTに励んでいく。英語に苦手意識を持っている学級担任も、積極的に話そうと努力する姿が子どもたちの学ぶ姿勢にプラスとなり、「英語が好き」な児童の割合が他のクラスより高くなっている。教員の英語力ではなく、授業への姿勢が重要であるということを共通理解していきたい。